

国際希少糖研究教育機構 各位

希少糖の何森から（2021年10月24日 日曜日）

～まえがき 3～

～まえがき 1～は2016年6月9日木曜日に【国際希少糖研究教育機構:何森No.001】として「簡単な情報を時々、発信させていただくことにいたします」と書いた。2016年はリオデジャネイロ五輪の年であった。

～まえがき 2～は2020年6月17日水曜日に4年間のブランクの後、東京五輪予定の年に【国際希少糖研究教育機構:何森No.009】 **Izumofleet formula** を発信し、[Izumofleet formula の冊子] と [Izumoring 早見盤] を配布させていただいた。

今回は【国際希少糖研究教育機構:何森No.010】サイコロ として発信し、[サイコロと希少糖、イズモリングとサイコロ] の冊子を機構の皆さんへ配布させていただく。

~~~~~

### 【国際希少糖研究教育機構:何森No.010】 サイコロ

**何森No.010 サイコロ** から、書かれている内容を想像できる方は多くないと思う。私のところに来られたことのある方は、デコレーションのように部屋にサイコロがゴロゴロしているのを思い出されるかもしれない。しかし、このサイコロが希少糖の研究・教育に関係があるとは思われないのか、深くお話しする機会は殆ど無かった。

【何森No.009】 **Izumofleet formula** までは希少糖の構造に関する発信であったので、今回の**サイコロ**も希少糖の構造に関するものであろうと想像していただけかもしれない。その通りです。サイコロと希少糖の構造とは密接な関係が存在していることを紹介させれいただく。

希少糖の研究・教育をしていると何故か諸々の「偶然」に遭遇する機会が多い。サイコロと単糖の構造の関係もその「偶然」の一つである。



目の並び方を考慮すると、通常のサイコロの数は16種類存在する。これは aldohexose の数と同じである。中国型のサイコロは 2の目が縦になっており 8種類存在する。これは炭素 2位がC=Oとなっている ketohexose の 8種類とピッタリ一致する。これにより Dice Izumoring が完成した。希少糖を研究しているとよく「偶然」に遭遇するのではあるが、偶然としては余りにできすぎているようである・・・。

この冊子は2部構成となっており、香川県のホームページにコラムとして投稿した「サイコロと希少糖」及び、農学部の学術報告に投稿した「イズモリングとサイコロ」とを一つの冊子としたものである。

サイコロを単糖の構造と関連づけ理解されている数少ない研究者である、農学部の深田先生と議論を重ねることで、学術報告としてまとめることができた。サイコロを学術論文とすることは長年の夢であった。

## 冊子の配布

研究協力グループのご協力により、国際希少糖研究教育機構に参加されている全研究者へ配布していただきます。

研究室の学生や他の方に配布したり、色々の場面での利用を希望される方は、研究協力グループにご連絡くださると「ご希望数を」提供させていただきます。

冊子に書きましたように「希少糖は何だね」と聞かれて「サイコロのようなものです」と説明すると「分かったような気がする」と言われると思います。

何森 健 [izumori.ken@kagawa-u.ac.jp](mailto:izumori.ken@kagawa-u.ac.jp)

(本冊子に掲載した「サイコロと希少糖」「イズモリングとサイコロ」は香川県及び農学部から再録することの許可を得ている)